



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社アゴラホスピタリティグループ 上場取引所 東
 コード番号 9704 URL <https://www.agora.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) ウィニー・チュウ・ウィン・クワン
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) シ・フェイティン TEL 03-3436-1860
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,024	△7.2	46	△61.5	19	△71.8	△84	—
2025年12月期第1四半期	2,180	12.5	121	87.0	70	1.4	△13	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 7百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 △56百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△0.32	—
2025年12月期第1四半期	△0.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	20,457	8,926	27.1
2025年12月期	20,988	8,850	26.7

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 5,543百万円 2025年12月期 5,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,500	△9.9	450	△11.4	400	△10.3	150	△45.6	0.56
通期	9,500	△4.1	950	△10.0	800	△8.0	250	△80.4	0.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期 1 Q	281,708,934株	2025年12月期	281,708,934株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	15,005,055株	2025年12月期	15,005,055株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期 1 Q	266,703,879株	2025年12月期 1 Q	258,017,326株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は円安を背景に訪日需要が拡大し、観光・小売業に追い風となりました。日本政府観光局（JNTO）の発表によると同期間の訪日外客数は累計1,000万人を突破しました。特に韓国が最大市場として好調に推移しました。一方、中国からの訪日客は渡航抑制や減便の影響で大幅減となりました。また、中東情勢の悪化に伴う地政学リスクによる増大による影響が懸念されたものの、東南アジア諸国については過去最高を更新する市場も多く、堅調な状況が続いています。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,024百万円（前年同四半期比7.2%減）となりました。これは、宿泊事業の売上高が1,816百万円（前年同四半期比7.6%減）と減少したことに加え、その他投資事業において売上高が207百万円（前年同四半期対比3.5%減）と減少したことによります。

営業利益は46百万円（前年同四半期比61.5%減）となりました。これは、アゴーラプレイス大阪難波のホテルの運営が終了したことに加え、ドーセットバイアゴーラ大阪堺の運営開始に伴い、減価償却費等の営業費用が増加したことによります。また、第10回ストック・オプションの株式報酬費用を64百万円計上したため営業費用が増加しました。

また、営業外収益は為替差益35百万円を含む46百万円を計上しました。営業外費用はドーセットバイアゴーラ大阪堺の完工に伴い借入金が増加し支払利息48百万円（前年同四半期比56.8%増）を計上したほか、同施設の開業により開業費償却14百万円を計上したことにより73百万円となりました。これらの結果、経常利益は19百万円（前年同四半期比71.8%減）となり、法人税等合計31百万円、非支配株主に帰属する四半期純利益73百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は84百万円（前年同四半期は純損失13百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

宿泊事業における売上高は1,816百万円（前年同四半期比7.6%減）となりました。大阪地区にある当社グループの主要なホテルにおいては中国による日本への渡航自粛の影響が認められ稼働率が伸び悩みましたが平均客室単価（以下ADR）を高く維持したことにより売上高の減少を抑えました。また、ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺においては宿泊部門の減少をレストラン・宴会部門において補った結果、売上高は732百万円（前年同四半期比2.8%減）となりました。同様にホテルアゴーラ大阪守口においても宿泊の稼働率は下がりましたがADRを高く維持したほか、レストラン・宴会部門においてその減少を補った結果、売上高は374百万円（前年同四半期比0.2%減）と微減に抑えました。なお、アゴーラプレイス大阪難波は昨年7月に運営を終了しております。

東京地区のアゴーラ東京銀座およびアゴーラプレイス東京浅草の2施設については、好調な需要に支えられました。アゴーラ東京銀座は前年同四半期に比べADRが2,322円上昇したことにより売上高は14百万円増加しました。アゴーラプレイス東京浅草はADRが減少したものの稼働率が上昇したことにより売上高は4百万円増加しました。これらの結果、宿泊事業の営業利益は209百万円（前年同四半期比18.4%増）となりました。

国際情勢や為替変動により特定の国からの旅行者数の減少につながる場合も懸念されます。当社としてはこれらの状況を注視し、特定の国だけに頼らず、インド、東南アジア、オーストラリアなどの地域からの利用客を増やす施策を行っております。また、アゴーラプレイス大阪難波は昨年7月に運営を終了いたしましたが、2026年2月にアゴーラプレイス京都二条城を開業いたしました。アゴーラプレイス京都二条城を皮切りに2030年までに30ホテルの目標に向けて宿泊施設を増やしてまいります。

② その他投資事業

当第1四半期連結累計期間におけるその他投資事業の売上高は215百万円から207百万円と僅かに減少しました。これは、マレーシアにおける霊園事業の売上高が5百万円増加し196百万円から201百万円（前年同四半期対比2.6%増）となりましたが、証券投資事業において香港証券市場に上場する株式や社債の評価損を計上したことにより、売上原価15百万円計上いたしました。これらの結果、その他投資事業の営業利益は15百万円（前年同四半期比51.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、20,457百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、5,892百万円となりました。これは、現金及び預金が351百万円、売掛金が56百万円、貯蔵品が44百万円減少し、開発事業等支出金が90百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、14,409百万円となりました。これは、有形固定資産が110百万円、無形固定資産が38百万円、投資その他の資産が3百万円減少したことによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて14百万円減少し、156百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.0%減少し、11,531百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14.9%減少し、3,231百万円となりました。これは、未払金が101百万円、未払法人税等が310百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、8,299百万円となりました。これは、長期借入金が50百万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて76百万円増加し、8,926百万円となりました。これは、利益剰余金が84百万円減少し、為替換算調整勘定が18百万円、新株予約権が64百万円、非支配株主持分が77百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、2026年2月13日に公表いたしました2026年12月期の業績予想に対し、概ね想定通りに推移しており、現時点で業績予想の修正はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,566,429	3,214,944
売掛金	559,101	502,454
有価証券	94,835	79,643
貯蔵品	101,329	56,820
開発事業等支出金	1,685,842	1,776,821
その他	261,632	274,872
貸倒引当金	△13,307	△13,400
流動資産合計	6,255,864	5,892,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,698,072	7,595,133
車両運搬具(純額)	15,259	13,997
工具、器具及び備品(純額)	201,390	194,739
土地	5,510,992	5,510,992
建設仮勘定	1,272	1,272
有形固定資産合計	13,426,986	13,316,134
無形固定資産		
ソフトウェア	18,594	17,009
のれん	539,732	503,268
無形固定資産合計	558,327	520,277
投資その他の資産		
投資有価証券	188,922	189,296
長期貸付金	472,881	494,806
繰延税金資産	155,761	148,019
その他	114,857	112,856
貸倒引当金	△355,253	△371,666
投資その他の資産合計	577,169	573,313
固定資産合計	14,562,482	14,409,725
繰延資産	170,467	156,062
資産合計	20,988,815	20,457,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	326,227	218,420
1年内返済予定の長期借入金	1,190,849	1,169,862
未払金	1,176,569	1,075,172
未払費用	31,432	10,764
未払法人税等	321,377	10,440
賞与引当金	186,638	192,301
その他	564,251	554,392
流動負債合計	3,797,346	3,231,354
固定負債		
長期借入金	7,721,891	7,671,557
長期預り保証金	226,922	227,578
繰延税金負債	34,045	33,879
その他	357,985	366,815
固定負債合計	8,340,844	8,299,831
負債合計	12,138,190	11,531,185
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,688,893	2,688,893
利益剰余金	△5,445,501	△5,530,149
自己株式	△548,684	△548,684
株主資本合計	5,229,114	5,144,465
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	380,967	399,339
その他の包括利益累計額合計	380,967	399,339
新株予約権	64,800	129,600
非支配株主持分	3,175,742	3,253,354
純資産合計	8,850,624	8,926,759
負債純資産合計	20,988,815	20,457,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	2,180,468	2,024,349
売上原価	1,516,765	1,323,638
売上総利益	663,703	700,710
販売費及び一般管理費	541,787	653,766
営業利益	121,915	46,944
営業外収益		
受取利息	10,116	4,543
為替差益	—	35,121
受取家賃	1,756	5,718
プリペイドカード失効益	192	285
雑収入	10,710	—
その他	2,701	410
営業外収益合計	25,477	46,079
営業外費用		
支払利息	30,698	48,131
為替差損	26,059	—
資金調達費用	3,665	2,917
持分法による投資損失	6,260	7,045
開業費償却	7,543	14,405
その他	2,310	524
営業外費用合計	76,538	73,024
経常利益	70,855	19,999
税金等調整前四半期純利益	70,855	19,999
法人税、住民税及び事業税	35,447	22,508
法人税等調整額	32,596	8,510
法人税等合計	68,044	31,018
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,810	△11,018
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,099	73,629
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,289	△84,648

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,810	△11,018
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△59,670	18,372
その他の包括利益合計	△59,670	18,372
四半期包括利益	△56,859	7,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,959	△66,276
非支配株主に係る四半期包括利益	16,099	73,629

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	92,433千円	120,316千円
のれんの償却額	36,464	36,464

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,965,265	215,203	2,180,468	—	2,180,468
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,965,265	215,203	2,180,468	—	2,180,468
セグメント利益	177,012	31,068	208,081	△86,165	121,915

(注) 1. セグメント利益の調整額△86,165千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,816,641	207,708	2,024,349	—	2,024,349
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,816,641	207,708	2,024,349	—	2,024,349
セグメント利益	209,633	15,003	224,637	△177,692	46,944

(注) 1. セグメント利益の調整額△177,692千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。